



### 令和4年度 通常総会・会員交流会 開催



開会挨拶：土屋会長

令和4年6月10日(金)、ホテルニューオータニ博多「芙蓉の間」にて、福岡貿易会第57回通常総会を開催しました。

前回令和3年度通常総会と同様に、受付にはサーモカメラ、消毒液、アクリル板を設置するとともに、会場では一人一席として十分な距離を取って配席し、

演台前にもアクリル板を配するなど、コロナ禍でも皆さまに安心して一堂に会していただけますよう、感染防止に十分に配慮しての開催となりました。

おかげさまで、委任状を含め総勢205名の方々にご参加いただきました。皆さまのご協力に心より感謝申し上げます。

総会では、令和3年度の事業報告及び収支決算、並びに欠員に伴う役員を選任について審議が行われ、全てご承認いただきましたことをご報告いたします。また報告事項としまして、令和4年度の事業計画及び収支予算、並びに新規入会会員数につきまして、事務局よりご説明させていただきました。

また昨年は感染拡大防止の観点から総会後の会員交流会の実施を見送りましたが、今年は6月1日に「福岡コロナ警報」が解除されたこともあり、総会後では3年ぶりとなる会員交流会を開催いたしました。

総勢85名もの会員の皆さまにご参加いただき、また福岡市の中村副市長をはじめとするご来賓の方々もお迎えすることができ、皆さまが一堂に会して直接交流できる機会をご提供することができましたことを、事務局一同、大変喜んでおります。



交流会風景

なかなかコロナ禍の収束は見通せませんが、感染拡大防止には十分に留意しつつ、今後とも会員の皆さまが互いに集える交流の機会を創出して参りたいと存じますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



ご来賓の皆さま



新入会員紹介



# 2023年7月に福岡市で開催される 世界水泳に対するご支援をお願いします。

福岡市 市民局 世界水泳担当課長 阿南 公彦

福岡市において、2023年7月14日から7月30日まで、「世界水泳選手権福岡大会」が開催されます！マリンメッセ福岡をメイン会場として、世界中のトップアスリートによる熱い戦いが繰り広げられます。また、8月2日から8月11日には、世界中の水泳愛好家などが集まる「世界マスターズ水泳選手権九州大会」が、福岡市・熊本市・鹿児島市の3都市で開催されます。紙面をお借りしまして、福岡貿易会の皆様におかれましても、ぜひ会場へ足を運んでいただくとともに、ふるさと納税等を通じて、大会へご支援いただきますようよろしくお願いいたします。



大会メイン会場のマリンメッセ福岡A館のイメージ

## ■世界水泳選手権とは

オリンピックに並ぶ水泳競技の祭典で、2年に1度、競泳・飛込・ハイダイビング・水球・アーティスティックスイミング(AS)・オープンウォータースイミング(OWS)の6競技(76種目)で世界一を競う、国際水泳連盟(FINA)最大の国際大会です。

ハイダイビングは、地行浜に建てられた30mのタワーから、男子は27m、女子は20mの高さから飛び込むというオリンピックにはない世界水泳の特徴の一つです。

## ○2001年に福岡大会を開催

2001年にアジアで初めて開催した世界水泳福岡大会は水泳界に大きく貢献した大会といわれています。「国際大会基準の仮設プール」での開催は世界初の試みであり、仮設プールを活用すれば、あらゆる場所で開催できるという可能性を大きく広げました。また、今では当たり前となった、コースレーンに国や選手名を映し出す先進的な映像表現は、2001年の福岡大会から始まり、今では世界のスタンダードとなっています。

大会としても、北島康介選手やイアン・ソープ選手の活躍により、大きな盛り上がりを見せました。来年、22年ぶりに日本で開催される大会においても、新たなスター選手が誕生することを期待しています。

## ○大会の規模

水泳単一の競技としては、世界最大の大会であり、参加国は200か国、参加選手は2,400人、来場者は40～50万人を見込んでいます。

## ■世界マスターズ水泳選手権とは

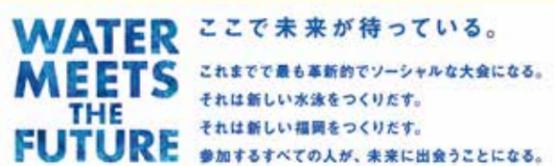
競泳、飛込、水球、アーティスティックスイミング、オープンウォータースイミングの競技を通して『健康・友情・

相互理解』を実現することを目的としたものです。

世界水泳選手権が各国代表選手による大会であるのに対し、世界マスターズ水泳選手権は25歳以上の誰にでも参加資格があります。参加国は100カ国、参加選手は10,000人を見込んでいますが、参加者の多くが、観光も兼ねて開催地を訪れるため、平均滞在日数は15.8日と長くなっています。また、ご本人だけではなく、ご家族やご友人と一緒に長期休暇をとって来られる方が多く、2019年韓国光州大会では、富裕層の多い欧米圏から54.1%の参加がありました。日本は世界経済フォーラム発表の世界観光ランキングで初の首位を獲得した人気が高い国ですので、多くの方の参加が見込まれます。

## ■福岡大会・九州大会について

### ○コンセプト



「WATER MEETS THE FUTURE」のコンセプトのもと、参加するすべての人に未来に出会っていただける大会となるようテクノロジーを活用した新しい試みにもチャレンジしています。また、本大会を通じて子ども達への貴重な体験機会も創出します。

### ○マスコット

海に開かれた福岡にちなみ、海の人気者で知られるイルカがモチーフのキャラクター「シーライ」・「シャーニー」と一緒に大会を盛り上げていきます。



### ○取組みについて

#### ・1年前イベントの実施

世界水泳の気運醸成のため、7月14日には博多駅前広場にて開幕1年前を記念したトークイベントを開催しました。ゲストには6月に開催された世界水泳ASソロ種目で2冠を達成した乾友紀子選手やAS日本代表ソロコーチの井村雅代コーチ、競泳元日本代表の松田丈志さん、水球元日本代表キャプテンの志水祐介さんを招き、高島市長は、「素晴らしい形で世界中から多くのお客様を迎えられればと思います」と語り、乾選手は、「自分が21年前の福岡大会を見てメダルを目指すことになったように、福岡での世界水泳が子どもたちの夢に繋がってくると嬉しいです」と大会に込めた決意を話してくれました。世界マスターズ水泳選手権の開催都市である鹿児島市下鶴市長と熊本市中垣内副市長にも駆けつけていただき、ともに開催に向けての意気込みを語っていただきました。



上段左より：井村コーチ、下鶴鹿児島市長、中垣内熊本市副市長、志水さん  
下段左より：乾選手、高島福岡市長、松田さん

### ・AR、VR体験

テクノロジーを活用した取組みの一つに、大会サポーターの(株)ビーブリッジ様ご提供のARを活用したナビ、スポット情報シェアアプリ「coconey (ココニー)」があります。スマートフォンをかざすと大会マスコットのシーライやシャーニーが現れ、一緒に写真撮影ができます。



ARの利用方法については  
こちら

また、各種イベントでの世界水泳ブース出展時には、メイン会場のマリンメッセ福岡A館やハイダイビング会場のシーサイドももち海浜公園でのVR体験もできますので、ブース出展の際は、是非お越しください。



HKT48様にもVR体験いただきました

### ○経済波及効果

世界水泳選手権福岡大会、世界マスターズ水泳選手権九州大会では、選手・スタッフ・メディアなど多くの関係者が来福し、長期間滞在するため、宿泊や移動など大きな直接効果があります。また、来年は国内外からの観客も見込めるため、移動・宿泊・飲食・買い物・娯楽の消費による経済波及効果が期待されます。

このことにより福岡市への経済波及効果は約470億円を見込んでいます。また、全世界で40億人が視聴し、世界への「FUKUOKA」の知名度向上に大きく寄与する大会です。

本大会を大成功に収めるため、世界水泳選手権を開催する福岡市に対するご寄付等につきまして、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 世界水泳を開催する福岡市へのご支援のお願い

福岡市は、ふるさと納税等を通じて、世界水泳ひいては福岡市を一緒に盛り上げていただける企業や個人の方を募集しています。

### ○企業の方

#### ・企業版ふるさと納税によるご寄附

企業版ふるさと納税とは、国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税について税制上の優遇措置が受けられ、軽減効果は最大約9割になります\*1。

ご寄附いただけますと、感謝状贈呈式\*2、市HPや、公共施設に設置のデジタル銘板\*2に企業名を掲載いたします。

- ぜひ、開催地・福岡市にご支援をお願いいたします。
- ※1 本社が福岡市の企業は対象外となります
- ※2 100万円以上のご寄付が対象となります



企業版ふるさと納税については  
こちら

### ○個人の方

#### ～ふるさと納税で大会を応援～

#### ・ガバメントクラウドファンディング

市外からの来訪者へのおもてなしのため、福岡市初のガバメントクラウドファンディングにより、天神・博多地区街路灯への世界水泳バナーの掲出をはじめとした市内装飾費用を広く募ります。10,000円以上ご寄付いただいた方は、先着でバナーへ記名ができ、さらに希望される方へは、大会期間中、会場周辺に設置の寄付者銘板にお名前を掲出いたします。

申込期間：令和4年9月20日～12月20日

※福岡市内在住の方でも申込み可能です。



バナー掲出イメージ



バナーイメージ



詳細はこちら

#### ・ふくおか応援寄付(世界水泳応援)

金額に応じてぬいぐるみなどの世界水泳オフィシャルグッズや、市内特産品など様々な返礼品をご用意しています。



世界水泳グッズを希望の方はこちら 福岡市の特産品などを希望の方はこちら  
※福岡市内在住の方への返礼品の送付は行っておりません。



### ＼SNSで情報発信中！／

世界水泳公式SNSで、アスリートからのメッセージ等を発信しています。



### 《寄稿者》

阿南 公彦 氏  
福岡市市民局  
世界水泳担当課長



## 今こそ、ミャンマー人材の活用を!

株式会社ジェイサット 代表取締役 西垣 充  
ゼネラルマネージャー 森川 晃

経済が回復基調にある日本国内では、現在人手不足が顕著化しています。入国緩和に伴い外国人材や技能実習生の採用を再開、検討する企業が増える一方で、これまで技能実習生の多くを占めてきたベトナム人が集まりません。その大きな要因はベトナムの急速な経済発展。自国の都市部で高収入を得られること、コロナの影響に加え、急激な円安により日本で働く魅力が減っているのです。

## ■ 外国人材はベトナム人からミャンマー人へ

JICA（独立行政法人国際協力機構）が2022年3月に発表した『2030/40年の外国人との共生社会の実現に向けた取り組み調査・研究報告書』では、日本政府が目指す経済成長の達成に必要な外国人労働者数を次のように予想しています。

- ・2030年に419万人（現在の約3倍）
- ・2040年に674万人（現在の約4倍）

ベトナム人の割合は2030年を境に減少に転じ、ミャンマー人、カンボジア人の割合が増加するとしています。この数値は2021年2月1日発生のカンボジアのクーデター後の経済危機、昨今の円安を考慮していませんが、急激な円安は人材獲得に大きく影響しています。母国の通貨に換算すれば実質20%以上の給料減となるため、カンボジア人やベトナム人の来日意欲の減少に繋がっています。

しかしミャンマー人に関しては、日本への渡航意欲が減少しているわけではありません。2020年3月からの新型コロナウイルス感染対策とクーデターの影響で国内経済は瀕死状態。外貨規制に輸入ライセンス制導入などで国内企業の経営環境は日に日に厳しく雇用環境は悪化するばかり。燃料

費高騰や軍と民主派との武力衝突により主要な第一次産業も壊滅的被害を受けています。

多くの教員が退職した大学の正常化は見通せず、約30万人の大学生が就学継続を諦め海外就労・留学する人が増加。実際に、ヤンゴンのパスポート申請事務所前には連日長蛇の列ができています。

## ■ 日本語学習者が急増する背景

新型コロナウイルス感染拡大前、2019年の日本語検定試験（JLPT）の受験者総数においてミャンマーは、東南アジアではベトナムに次ぐ2番目でしたが、技能実習生予備軍のN4、N5受験者数ではすでにベトナムを抜いていました。2022年7月に日本語検定試験が再開されると、定員15,000名に申込みが殺到し、3分経たずに締め切り。2022年12月の試験では定員を50,000名に増やし、申込初日は夜間外出禁止令発令中にも関わらず徹夜組が出る。申込用紙も不足し、急遽オンラインに切り替えるほどの大混乱が起きました。

日本語学習者は増加していますが、日本での就労に特化した弊社「ジェイサットアカデミー」の日本語学校入学希望者をみると、決して様に日本語人気が高まったわけではありません。家計収入が大幅に減り、海外で稼ぐしかない。稼げるならどこでもいい、日本はその選択肢の1つという認識の人が増えています。以前主流だった日本への憧れや、アニメや文化、技術が好きという理由で選んだという人とは明らかな違いを感じられます。

## ■ コロナ規制緩和で多くの技能実習生が来日

現在ミャンマーから日本への入国は、2022年2月24日付けの『水際対策強化に係る新たな措置（27）』に基づき、受入責任者の管理の下、観光目的以外の外国人の新規入国が認められています。当初は日本政府指定ワクチン未接種者には隔離等が義務付けられていましたが、8月1日現在、ミャンマーから入国する場合は、陰性証明が必要ですが、ワクチン未接種者でも隔離は不要です。

6月から国際線が増便されると、日本の水際対策強化で足止めされていた技能実習生や高度人

材、留学生が続々と来日。その数は技能実習生だけでもすでに7,000名以上といわれています。

## ■ 外国人材採用ビザとその問題点

日本国内での外国人材活用に目を向けると、近年新たに認められた『特定技能』と『ミャンマー特定活動』という在留許可により、来日後のミャンマー人を取り巻く環境が変わってきています。

2019年4月に創設された『特定技能』は費用が少なく直接雇用が可能ですが、人材派遣会社の参入が多いため就職や転職のハードルが低く、賃金が高い首都圏に集まる傾向があり、地方企業を中心に離職率が高くなっています。

また技能実習2、3年目の「技能実習2号」修了者は分野により試験免除で『特定技能』に切り替えが可能。そのため技能実習生として採用し、『特定技能』に切り替えて継続勤務してほしいと願う企業も多くなっています。ただ『特定技能』人材は需要が高く、人材派遣会社が奪い合う状況なので、地方企業では技能実習生の3年間を就業期間と割り切って人材戦略を立てることが必要かもしれません。

また最近ミャンマー人にだけ問題となっている在留資格があります。それは『ミャンマー特定活動』（本国情勢を踏まえた在留ミャンマー人への緊急避難措置）。母国の情勢不安を理由に在留を希望する人への緊急避難措置として日本政府が在留や就労を認めるというものです。

就労できる業種が広く、基本的にフルタイムで働けることから、日本語学校を卒業・退学した留学生、技能実習生や特定技能ビザへ移行予定の人がブローカーなどを經由して『ミャンマー特定活動』に変更するケースが急増。「職場で嫌なことがあった」だけで変更する人もいるとも聞きます。

深刻なのは、ミャンマー国内で間違った情報が拡散されていること。どんなビザや方法でも来日してしまえば、このビザを申請すればいい、と安直に考えている人も少なくありません。研修期間に失踪する事例も出始めており、MOEAF（ミャンマー海外人材派遣企業協会）も問題視しています。

## ■ 帰国後50年稼げる人に

日本とミャンマーにおける、ミャンマー人を取り巻く環境の変化に伴い、弊社では人材育成方法を見直しました。弊社では、日本語教育やビジネスマナーだけでは不十分と考え、マインドのセッ

トアップと見極めを強化しています。

ミャンマー最難関で日本語教育と管理が厳しいことで知られる弊社入学志望者の多くは独立志向です。私自身もミャンマー起業家の一人。1998年に起業するも10年以上成功できず、ホテルの営業や日本の自動車組立工場などで働くなどしながら継続し、契機をつかんで会社を成長させてきました。その26年間の軌跡を、ともに会社を育てたミャンマー人幹部社員らと伝えて参ります。単に日本へ稼ぎに行くのではなく“帰国後50年間稼げる人になってほしい”という思いを授業で話しています。コロナ禍で余儀なくされたオンライン授業も、「学び方を教える」という弊校の目的と合致し、自主性を養うという結果を出しています。

今後、日本での就労を希望するミャンマー人が増え続けるのは間違いありません。だからこそ、数多の送り出し機関や日本語学校、そして就労者一人ひとりをそれぞれ見極めることが強く求められています。ミャンマー人は日本人に近い気質を持つとよくいわれますが、同じ文化を持っているわけではありません。日本に合う、それぞれの企業に合う人材に一人でも多く日本に来ていただきたい。日本での経験を踏み台にして、将来母国ミャンマーの経済発展に寄与してほしいと願います。



日本語学校の学生の集合写真



## 【寄稿者】

西垣 充 氏  
株式会社ジェイサット  
代表取締役



## 【寄稿者】

森川 晃 氏  
株式会社ジェイサット  
ゼネラルマネージャー



出典：【JICA 2030/40年の外国人との共生社会の実現に向けた取り組み調査・研究報告書】

# サイバーセキュリティ研究会が発足しました!

三井物産セキュアディレクション株式会社  
シニアコンサルタント 永野 英世

株式会社 FFRI セキュリティ  
社長室長 前田 典彦

こんにち、企業業務のIT化・デジタル化は、企業規模の大小を問わず多くの組織で浸透してきました。自社内だけで閉じて考えたときには、必ずしもIT化・デジタル化が必須でないで経営判断ができる企業・組織であっても、取引先とのやり取り・受発注をはじめとした様々な活動は、相手先がIT化・デジタル化を推進すると、それに応じてIT化・デジタル化に対応していかざるを得ません。そして、近年では、業務をIT化・デジタル化することとどまらず、ビジネスそのものの手段としてデジタル技術を活用すること、すなわちDX化の推進が叫ばれています。将来的にはビジネスモデル、組織、さらには新しい事業へと広い範囲での変革を促し、新たな企業の確立を目指していくという取り組みにつながっていくことでしょう。

こうした変革の中で、サイバーセキュリティは、常に様々な局面で登場します。パソコンやインターネットが登場する以前は、例えば人のお金を物理的に盗むときは、犯罪者は銀行強盗に押し入るなり人の家に泥棒に入るなりしていました。それが、こんにちにあっては、オンラインバンキングの認証情報やクレジットカード情報を盗むためにフィッシングメールをばらまいたり、盗んだ情報の束を闇サイトで売買したり、ということが平然と行われています。また、狙われるのは金銭（あるいは金銭的価値の高いもの）だけではありません。企業・組織が利活用しているIT化・デジタル化された情報もしかりです。情報は犯罪者にとってはお金のもとであり、金銭を目的としない攻撃者にとっては窃取・監視対象そのものなのです。

ここでキーワードとなるのが、「サプライチェーン」とその中に従来から入っている「中小企業」です。

## 1.1. FFTAサイバーセキュリティ研究会発足の背景

近年、サプライチェーン全体の中で対策が不十分な中小企業を対象とするサイバー攻撃により、それらの中小企業とサプライチェーンを共有する大企業等への影響が

顕在化してきており、中小企業のサイバーセキュリティ対策は喫緊の課題となっております。また、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響により、中小企業においてもテレワークの導入が広まる中、混乱に乗じてランサムウェアや不正アプリ等による攻撃が海外を中心に増加しており、中小企業へのサイバー攻撃を通じたサプライチェーン全体への脅威は増大しているのが現状です。

令和元年度から令和2年度にかけて経済産業省で実施した「サイバーセキュリティお助け隊」の実証事業の中でも、国内の中小企業において業種や規模を問わず例外なくサイバー攻撃を受けている実態が明らかになってきています。令和2年度に九州地域で行われた実証事業では計157社が参加しましたが、他地域と同様に、セキュリティに対する認知度の低さやセキュリティ対策にかかる費用や対策が十分でないという課題も明らかになりました。

このようにサイバー攻撃が高度化し被害内容も深刻化するなか、中小企業におけるサイバーセキュリティの取組は、サプライチェーン全体で捉えた際、我が国の産業に対する世界の信頼に直結する重要な課題であり、事前対策から事後対応まで経営者の適切な判断とリーダーシップが求められています。そのため、中小企業等が有効なサイバーセキュリティ対策を講じるための共助の場の構築として、地域に根付いたサイバーセキュリティに関するコミュニティ（以下「地域SECURITY」）を形成して、情報共有や課題解決の促進等を強化していくことが重要としています。

九州地域においても、一部地域で企業や大学等のキーパーソンを中心とした産学官連携のコミュニティ形成が進行しつつあるところ、九州各地で地域差なくサイバーセキュリティ対策強化が重要と認識、昨年度、経済産業省九州経済産業局の委託事業である中小企業サイバーセキュリティ対策促進事業（九州地域における地域SECURITY形成促進事業）を三井物産セキュアディレクション株式会社が受託、FFTA事務局の皆様やFFTA会員企業の皆様とともに九州地域を中心にサイバーセキュリティに関する施策の普及や情報共有等を促進することを目的に以下の3点を作業方針として早期形成を進めて参りました。

- (1) サイバーセキュリティに関する施策の普及
- (2) 自律的・継続的活動
- (3) 人材育成

この活動を通して昨今のサイバーセキュリティ脅威に対する本事業の優位性と意義を十分に理解頂き、福岡地域、佐賀地域、大分地域、宮崎地域、熊本地域と5つの地域で産業別にセミナーを全6回開催、さらに全8回の検討会開催での積極的な意見交換を行い、自発的に参加頂いた各団体・各企業の皆様、その皆様の口コミによる波及を含めた活動を積極的に行いました。

この活動成果からFFTAを中心に産業や地域を超えた様々な分野の方々とのコミュニティの形成が進み、この仲間と培った様々な知見を大切に、また、今後コロナ禍が収まった後の海外ビジネスに関わるサイバーセキュリティに関する知見をFFTA会員の皆様へ提供・支援する場としてFFTAサイバーセキュリティ研究会を7月に発足しました。

オブザーバーに九州大学情報基盤研究開発センター サイバーセキュリティセンター教授小出洋先生と福岡県警察本部サイバー犯罪対策課高度情報技術対処センターをお迎えし、また、株式会社FFRIセキュリティ 社長室長、特定非営利活動法人日本ネットワークセキュリティ協会（以下、JNSA）幹事・調査研究部会長の前田典彦氏、三井物産セキュアディレクション株式会社執行役員（コンサルティングサービス事業本部・公共事業部管掌）関原優氏、株式会社セキュアサイクル代表取締役、OWASP Fukuokaチャプターリーダー、SecHack365研究駆動コーストレーナーの服部祐一氏の3名の方にセキュリティ有識者として参加頂くなど、会員の皆様向けにサイバーセキュリティに関する支援・啓発活動を中心に年間を通して継続的に活動を予定、特に「体験の共有」、「交流」、「情報の共有」の3点を中心に産学官連携の

強化やサイバーセキュリティ業界と各産業分野との相互理解も目的の一つとしてワークショップやセキュリティセミナーの開催等を持続的に紹介しながら進め、安全・安心な社会の構築、サプライチェーン対策に貢献できる好循環を創出できるものと思料します。

表1-1 FFTAサイバーセキュリティ研究会オブザーバー (敬称略/順不同)

No	オブザーバー
1	九州大学情報基盤研究開発センター サイバーセキュリティセンター 教授 小出洋先生
2	福岡県警察本部 サイバー犯罪対策課 高度情報技術対処センター

表1-2 FFTAサイバーセキュリティ研究会 参加企業 (発足時) (敬称略/順不同)

No	参加企業・団体名称等
1	三井物産セキュアディレクション株式会社
2	株式会社FFRIセキュリティ
3	株式会社セキュアサイクル
4	創ネット株式会社
5	株式会社ミズ
6	株式会社オーイーシー
7	株式会社クロスポイントソリューション
8	正興ITソリューション株式会社

## 1.2. 令和4年度の研究会の活動（予定）

本年度は、サイバーセキュリティ研究会発足と昨年度地域SECURITY事業に支援頂いた会員企業の皆様とともにより企業目線でのワークショップ、セミナーなどの開催を進めながら、皆様のご意見を伺い、来年度以降の活動へつなげていく方針です。

### ①検討会の開催

FFTAサイバーセキュリティ研究会検討会を今期は1回/月程度でオンライン開催を予定、本研究会の運営方針と今期の企画化の検討などを積極的に行っていきます。

### ②ECサイトワークショップの開催

昨年度、地域SECURITY事業を通して中小企業の皆様のお声、アンケート結果から、ECサイトに関する基礎的な知見を学んで頂けるよう、講師に著名な株式会社セキュアサイクル服部祐一様をお迎えしてワークショップを開催致します。

開催時期：ハイブリッド開催 10月19日（水）を予定

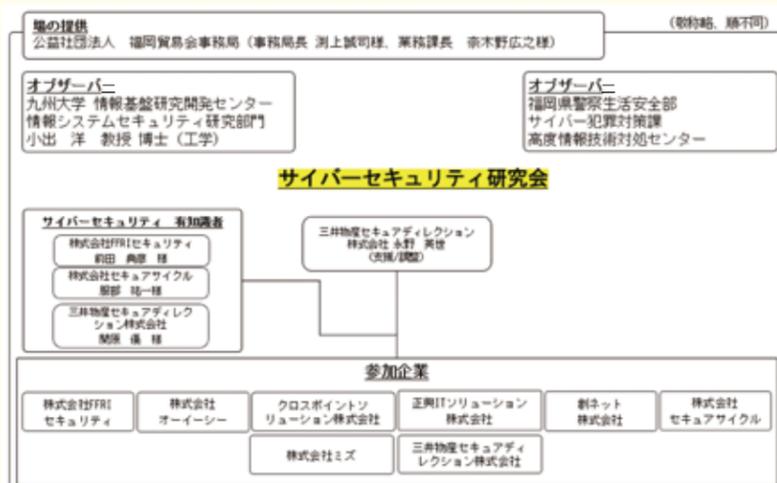


図1-1 FFTAサイバーセキュリティ研究会 体制図

### ③BlackHat USA 2022 レポート共有会

Black Hatは1997年より開催されているコンピュータセキュリティに関する世界最大のカンファレンスで、レギュラーイベントとしては毎年アメリカ（ラスベガス）、ヨーロッパ（ロンドン）、アジア（シンガポール）の3地域で行われています。

株式会社FFRIセキュリティ 社長室長前田典彦氏が現地参加、後日、本カンファレンスレポート共有会を開催、前田様より貴重な情報などをお話し頂きます。

### ④サイバーセキュリティセミナーの開催

毎年開催している、サイバーセキュリティセミナーは、今年度も著名な方にご登壇頂くことで企画、開催を予定しています。

開催時期：2023年2月中旬頃（サイバーセキュリティ月間の期間中）

### ⑤サイバーセキュリティ関連の相談窓口の設置

現在研究会では会員の皆様向けにサイバーセキュリティに関する無料相談窓口の設置を検討しています。ちょっとした相談や困っているけど相談先が分からないといった一次受付の開設を検討しております。また、本研究会のオブザーバーでもある、福岡県警サイバー犯罪対策課の存在を知らない方がいまだ多く、この活動を通してサイバー犯罪への相談先窓口を伝えるなどの活動を継

続して行っていくことも被害の拡大防止、予防に向けて必要と考えています。

「警察に相談しづらい」と言ったことについては各キーパーソンが個別にヒアリングやアドバイスをするなど支援も検討しています。是非、ご期待ください。

### ⑥会員企業向け製品・サービス特別価格でのご提供

会員の皆様向けにサイバーセキュリティ関連商材の特別価格提供を今後企画して参りますので、こちらも是非、ご期待下さい。



#### 《寄稿者》

永野 英世 氏

三井物産セキュアディレクション株式会社  
シニアコンサルタント



#### 《寄稿者》

前田 典彦 氏

株式会社 FFRI セキュリティ  
社長室長



## 福賀ニュースへの寄稿者を募集中です!

当会の定期会報誌であるこの「福賀ニュース」が皆さまのお役に立つよう、より一層活性化すべく、会員の皆さまからのご寄稿を募集しております！今号にも「特別寄稿」コーナーに「ガンバってます、会員企業！」コーナーがございますし、また御社が先駆的に手掛けておられる新規事業や社会貢献事業、他社とのコラボ事業のご紹介など、会員の皆さまにお伝えしたい内容がございましたら、ぜひ一度ご検討になってみてはいかがでしょうか？

ページ数や文字数、写真枚数の目安は、右記のとおりです。



「特別寄稿」：見開き2ページ、2,500～3,000字程度、写真4～5枚

「ガンバってます、会員企業」：1ページ、1,000～1,500字程度、写真2～3枚

その他特集記事：要相談

お堅い内容でなくてもまったく構いません。かといって単なる商品・サービスの宣伝では困るのですが、そこに会員の皆さまにお伝えすべき「何か」があるのなら、この会報誌に掲載する意義がきっと見つかるはずです！

皆さまからのお問い合わせをお待ちしております。

「福賀ニュース」担当：洲上



## ガンバってます、会員企業！ 株式会社マルタイ様

マルタイ福岡工場

即席めん（棒ラーメン）を中心に製造・販売を行っております「株式会社マルタイ」です。

棒ラーメンの他にも屋台ラーメン、長崎ちゃんぽん、長崎皿うどん等九州にこだわった商品のご提供に日々力を注いでおります。今回、当社代表商品の発売の歴史をご紹介します。

「マルタイラーメン」はラーメン店で食べるラーメンと同じ味を手軽に家庭で作って食べられるようにとの願いを込めて、1959年（昭和34年）に発売しております。マルタイラーメンの発売は開発着手から約2年間の歳月を要しており、毎日毎日生地をこねるところから手作業で試作品を作り、社員で試食を行うという地道な研究開発により、最終的に社員全員が「これはうまい！」と声をあげて納得した商品が完成致しました。1960年（昭和35年）には「煮込み3分、味一流！食べなきゃ損だよマルタイラーメン！」のフレーズにてラジオCMを行っております。発売当初より63年もの間、多くのお客様にご愛顧頂けるロングセラー商品となり、当社の屋台骨を支える看板商品でございます。

「屋台ラーメン」は屋台で食べる豚骨ラーメンのおいしさを再現できないかという当時の研究員の思いから開発に着手し、九州とんこつ味スープの即席化第一号として1969年（昭和44年）に発売しております。屋台ラーメンは「お月さん、何くってんのかなあ」という月をみながらポツンとしゃべる男の子のテレビCMを流し当時大好評を得ております。



「長崎ちゃんぽん」は1976年（昭和51年）に発売したカップちゃんぽんのパイオニア商品です。発売当時のカップ麺市場がラーメンタイプ、うどんタイプの二つに分類され、新ジャンルであるちゃんぽんフレーバーが多くのお客様の支持を得ることが出来ました。

「長崎皿うどん」は1979年（昭和54年）に発売しております。その後皿うどん類製品として様々な新製品の発売を行い、長崎の有名店「四海樓」の監修商品や揚げ麺のみを使用した「サラダ麺」などの商品もございます。2013年（平成25年）に本社も兼ねた皿うどん専用の福岡工場（所在地：福岡市西区）の稼働を開始しております。



以上、マルタイ商品の歴史をご紹介させて頂きましたが、直近の出来事として今年2022年3月に棒ラーメン専用新工場「佐賀工場」（所在地：唐津市石志）を竣工しております。

今後もマルタイは当社経営理念である「世界の食卓に魅力ある商品を届ける」という理念を全うし、世界各国のご家庭にマルタイの味を届けていきます。

#### 《寄稿者》

永田 俊明 氏  
株式会社マルタイ  
海外事業部 係長



マルタイ佐賀工場



## 事務局新人ご紹介



なぎの ひろゆき  
奈木野 広之

(株)正興電機製作所より今年5月1日付けで参りました業務課長の奈木野と申します。正興電機では主に配電盤の営業業務に携わっておりました。貿易会事務局での業務内容とは大きく異なっており、今は日々学ぶことばかりです。

意識している言葉は、「至誠を貫く」です。丁寧に何事も行い、一つでも多くのことを身に付け、いち早く皆様に貢献できるよう従事して参りますのでご指導ご鞭撻の程どうぞよろしくお願いいたします。

### 【自己紹介Q&A】

Q：趣味は？

A：魚釣りです。ジギングやタイラバ、SLJ、イカメタル等の船釣りが多いです。釣った魚を捌いて食べることが大好きです。

Q：どのような学生生活を過ごしましたか？

A：大学の研究室では昆虫の変態に関わる研究を行っていました。コクヌストモドキという甲虫を使った実験で、1年間ほぼ毎日研究室に行く生活でした。同じように虫を大学時代に育て、実験していた方とは実験の大変さを共感したいです！

Q：最近の出来事は？

A：第一子の男の子が5月に生まれました。

日々成長していく姿に驚いています。

私自身、父と小学校の頃から今でも一緒に魚釣りに行っているのが10年後くらいになりそうですが父、私、息子と一緒に魚釣りに行きたいです。

略歴	1994年11月15日	福岡県田川郡川崎町生まれ
	2010年3月	飯塚日新館中学校 卒業
	2013年3月	早稲田佐賀高等学校 卒業
	2018年3月	日本大学文理学部物理生命システム科学科 卒業
	同年4月	正興電機製作所 入社
	2022年5月	(公社)福岡貿易会 着任

## 福岡貿易会からのお知らせ

**今後開催予定のセミナー** ※予定につき変更の場合があります。会員以外の方の受講も可能です。

### ○ 貿易実務講座 輸出実務編

【日 時】 令和4年10月12日(水) 9:30～15:30  
【会 場】 オンラインセミナー(ZOOMミーティング)  
【講 師】 国際法務(株) 代表取締役 中矢 一虎氏  
【受講料】 福岡貿易会会員 5,000円/一般 10,000円

### ○ 事例で学ぶ貿易実務実践セミナー

【日 時】 令和4年11月17日(木) 14:00～16:30  
【会 場】 オンラインセミナー(ZOOMウェビナー)  
【講 師】 坂田貿易支援事務所 代表 石川 ゆき氏  
【受講料】 福岡貿易会会員 無料/一般 2,000円

### ○ 貿易実務講座 輸入実務編

【日 時】 令和4年10月13日(木) 9:30～15:30  
【会 場】 オンラインセミナー(ZOOMウェビナー)  
【講 師】 国際法務(株) 代表取締役 中矢 一虎氏  
【受講料】 福岡貿易会会員 5,000円/一般 10,000円

### <夜間講座>

#### ○ ビジネス英会話講座中級編

【日 時】 令和4年9月15日～12月22日 全14回  
毎週木曜日 19:30～21:00  
【会 場】 福岡貿易会事務所  
※緊急事態宣言発令の際にはオンラインに変更  
【対 象】 英検2級～準1級、TOEIC600～800程度の方  
【講 師】 Adam Stone氏  
【受講料】 福岡貿易会会員 26,000円/一般 39,000円

### ○ 実務経験者のための食品輸入セミナー

【日 時】 令和4年10月27日(水) 14:00～16:00  
【会 場】 オンラインセミナー(ZOOMウェビナー)  
【講 師】 福岡検疫所食品監視課 輸入食品相談室長 土井 良一氏  
(一財)食品環境検査協会福岡事業所 所長 但馬 吉保氏  
【受講料】 無料

- 発行/ 公益社団法人福岡貿易会  
☎812-0011 福岡市博多区博多駅前二丁目9番28号7階  
☎ 092 (452) 0707 FAX 092 (452) 0700
- 発行日/令和4年9月30日 ●印刷/ (株)西日本高速印刷

